

事務事業評価表 平成25年度

政策 安心を感じる保健・医療・福祉の充実
 施策 子育て環境の充実
 基本事業 施策の総合推進

事業名 **母子生活支援施設維持管理経費**

[0170]

| | | | | | |
|----|-------------|--------|--------|----------|------|
| 部名 | 健康福祉部 | 事業開始年度 | 昭和30年度 | 実施計画事業認定 | 非対象 |
| 課名 | 子育て支援子ども家庭課 | 事業終了年度 | - 年度 | 会計区分 | 一般会計 |

| 事務事業の目的と成果 | |
|------------|--|
| 対象 | (誰、何に対して事業を行うのか) 母子生活支援施設 |
| 意図 | (この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 入所者が安心して安全に生活できるようになる。 |
| 手段 | (事務事業の内容、やり方、手段) 母子生活支援施設ひまわりの維持・管理に要する経費 |

| 事業量・コスト指標の推移 | | | | | | |
|----------------|-----------|----|--------|--------|--------|--------|
| 区分 | | 単位 | 22年度実績 | 23年度実績 | 24年度実績 | 25年度当初 |
| 対象指標1 | 施設数 | ヶ所 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 対象指標2 | | | | | | |
| 活動指標1 | 運営・維持管理経費 | 千円 | 131 | 149 | 164 | 182 |
| 活動指標2 | | | | | | |
| 成果指標1 | 入所者数 | 人 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 成果指標2 | | | | | | |
| 単位コスト指標 | | | | | | |
| 事業費計 (A) | | 千円 | 153 | 149 | 164 | 182 |
| 正職員人件費 (B) | | 千円 | 403 | 401 | 401 | 403 |
| 総事業費 (A) + (B) | | 千円 | 556 | 550 | 565 | 585 |

| 費用内訳 | |
|------|----------------------------------|
| 24年度 | 需用費 116千円、委託料 35千円、使用料及び賃借料 13千円 |

事業を取り巻く環境変化

| | | | |
|--------|--|-------------|---|
| 事業開始背景 | | 事業を取り巻く環境変化 | 施設の老朽化、寮形式の入所形態が時代のニーズにそぐわなくなっている。 平成22年4月より施設休止中。 |
|--------|--|-------------|---|

24年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業
妥当である
妥当性が低い

理由・
根拠は？

入所者が安心して安全に生活できるように、施設の維持管理を行うのは妥当である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい
貢献度ふつう
貢献度小さい
基礎的事務事業

理由・
根拠は？

入所者が安心して安全に生活できるように維持管理するために貢献している。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？

あがっている
どちらかといえばあがっている
あがらない

理由・
根拠は？

施設の維持管理には、入居者に直接影響のある必要最小限及び緊急性のある維持修繕に限り行うこととしている。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大
成果向上余地 中
成果向上余地 小・なし

理由・
根拠は？

当該施設の維持管理のために最小限の施設整備を行っている。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある
ない

理由・
根拠は？

コストは、必要最小限に抑えており、これ以上の削減余地を見出すことは難しい。